

第2章 “とちぎ”を動かす

経済・社会が地球規模で大きく変動するこの21世紀において、社会がいきいきと躍動し人々が心豊かに暮らしていくためには、これまでの成長を支えてきた社会経済システム全般にわたって変革していく必要があり、現在、各方面において新たな「かたち」を模索する取組が進められています。

こうした中であって、私たちは、先人が築き上げてきた郷土の魅力と可能性を最大限に活かし、「自らの未来は自らの力で切り拓いていく」という挑戦する姿勢を持って、これからの“とちぎ”づくりを進めていきます。

第1節 “とちぎ”の将来像

少子高齢化による人口構成の大きな変化をはじめ、地球規模での環境問題や経済、情報等のグローバル化など、社会は今、時代の大きな変革期にあり、人々の意識や地域コミュニティのあり方もまた大きく変化しています。

こうした中で、私たちの郷土“とちぎ”を希望と誇りの持てる自立した地域として発展させていくためには、その担い手である県民一人ひとりの個性や能力をはじめ、自然や文化、産業基盤など、本県が持つ優れた資源や飛躍の可能性を最大限に引き出していくことが必要です。

私たちが目指す将来像は、人々が豊かで活力に満ちた生活を営み、自然や街並み、そして人々の心が美しさとやさしさにあふれ、住む人にも訪れる人にも魅力ある郷土、そして未来の子どもたちにさらなる可能性を約束する郷土“とちぎ”。

この計画において、このような郷土の将来像を、

「活力と美しさに満ちた郷土“とちぎ”」

として掲げ、200万県民の皆さんと一緒に、その実現に向けて全力で取り組んでいきます。